



日本共産党 練馬区議会議員・都政対策委員長

えつこ

とや英津子

のニュースレター 3・4月号

とや英津子事務所
練馬区桜台1-6-11
TEL 03-3991-7008
FAX 03-3948-0153
区議会控室
TEL 03-5984-1014
FAX 03-3993-1198
toya-jcp.info

練馬区議会第一回定例会終わる

くらし・子育て最優先の区政に奮闘

2月8日、3月15日の日程で行われた練馬区議会第一回定例会が終了しました。総額約4千億円の来年度予算について、区民の立場から6名の区議が論戦しました。最終日には、私とや英津子が予算に対する反対討論を行い、①保育所・学童待機児解消や商店街予算などで区民の願いに応えていない②国民健康保険料の値上げや出張所廃止など耐えがたい区民負担とサービス低下③光が丘四小閉校、小竹・旭丘小中の統廃合、都市計画道路計画推進など区長の「改革ねりま」自体が区民合意がないことを指摘しました。



またも説明もしないまま議員定数削減提案が公明などから提出されましたが、否決。議員の交通費支給は全額廃止になりました。

東日本大震災から6年、3・11は全国各地で原発ノミを掲げた集会やデモが行われました。私は練馬の取り組みに参加し、皆さんと一緒に声をあげました。

未だに避難者12万人、いじめや生活再建もままならない状況があります。被災者支援や復興策の打ち切りは許せません。原発ゼロの実現に力を合わせましょう。



とや英津子のかけ歩き

豊洲新市場予定地・築地市場へ

都政をゆるがす大問題になっている築地市場の豊洲への移転問題。豊洲市場予定地と、世界的観光地となっている築地市場へ行ってきました。



(2・3面をご覧ください)

とや英津子のニュースレター

3・4月号

石原元都知事 負の遺産 外環の2ストップを！

3月23日、「外環の2」練馬訴訟の判決報告集会に参加しました。

本線の地下化によって側道として計画されていた「外環の2」は必要性がなく、石原都知事(当時)は“もう迷惑はかけない。安心を”と沿線住民に説明していました。ところが実施決定の手続きも不透明なまま計画が推進されており、今回の裁判になりました。判決は棄却でしたが、この日は区内で道路計画やまちづくり問題で活動している団体・個人合わせて約80人が集い、元気に連帯して運動する意志を固めました。

皆さんと力を合わせ「まちづくりの主人公は住民」を実現するため私も頑張ります。



2015年1月、宮本徹衆議院議員と外環の2計画予定区域を調査



練馬訴訟の判決報告集会

医療と福祉を語る 練馬の介護の現状は？

医療や福祉の関係者などの集まりで、練馬の介護の状況を報告させていただきました。今、国の介護保険制度改悪で「保険あつて介護なし」の状況が広がり、練馬区では週2回のデイサービスを1回に減らす人もでてきます。さらに特養ホームは介護度3以上へと対象が絞られ、改悪前は2800人だった待機者が約1300人。要支援者を保険からはずす地域支援事業では、すでに約3400人が新事業へ移行しました。こうした現状を少しでも解決していくため、都が廃止した特養の用地費補助復活や福祉職員的大幅増員、地域の活動を支援する仕組みづくりなどを提案しました。



医療福祉問題で報告

都政をゆるがす大問題・豊洲、築地へ！ とや英津子 リポート

豊洲移転は中止を！

築地ブランドは長年の信用

外国からの観光客も多く大変なにぎわいの築地市場を、東京中央市場労働組合委員長の中澤誠さんに案内していただきました。中澤さんは一貫して豊洲移転に反対し、昨夏、盛り土がないことを指摘した人です。

築地は水産卸売市場としては世界最大級です。中澤さんは、「目利きの仲卸が競りでいいものに高値を付ける、だから築地は生産者からも消費者からも信用されているんです。長い歴史の中で培われた信用、それが「築地ブランド」と説明します。さらに、築地市場の一番の強みは「物流効率性」と言います。卸と仲卸が数歩の距離。豊洲は卸棟と仲卸棟が大道路を挟んでいるのに、買った魚を誰が運搬するのかも未定のまま。「あのまま豊洲が開場したら、大変なことになっていた」と中澤さん。

最近になって自民党都議らが築地も汚染されている、と言っています。中澤さんは「以前クリーニング屋があった場所から汚染物質が検出されたが、そこは除去してもらいましょう。豊洲は市場



市場の建物内から工事中の環状2号線が見える。豊洲に渡る道路だが、築地市場にぶつかって未開通、急カーブのバイパスは事故が多発すると指摘されている

予定地全部が汚染された工場跡地。汚染のレベルがまったく違います」ときっぱり。古いと言われる建物や床も、「石原都知事以降、豊洲移転を前提に東京都が築地の改修をしてこなかったから」と指摘します。

都政の闇を暴きます！

中澤さんは「築地内業者はほとんどが移転反対」と言います。案内してもらっている最中も、行き交うターレット（小型運搬車）から中澤さんに激励の声がかかります。「都民にも市場関係者にも徹底して情報を隠し、嘘をついてきた。こんな非民主的なやり方は絶対に通用しない、必ず移転は中止になると確信していました」と胸を張る中澤さん。

豊洲移転反対署名は1カ月で2万5千人分が集まり、築地女将さん会もしがらみを取りこえて立ち上がりしました。安全で安心な食べものをという都民の願いにこたえて、この都政史上に残る「闇」を、私も必ず追及していきます！

都民だましの移転計画。歴代知事、与党の責任は重い

何から何まで都民だましの豊洲移転。歴代都知事だけでなく、推進の旗を振り続けてきた都議会自民党や公明党などの責任も重大です。自民党は、深刻な汚染が明らかになった今年一月以降も、「一日も早い開場を」というビラを配布するなど反省が見られません。また、練馬区長の前川耀男氏は、知事本局長時代に豊洲用地取得に深く関わり、退職後すぐに東京ガスに天下りしたことで、都議会百条委員会に証人喚問されました。



工事に關して大手ゼネコンの談合疑惑もあります。工事費は予定価格の1・7倍に膨れ上がりました。これらさまざまな問題を、日本共産党都議団は当初から指摘し、追及してきました。食の安全を求める市民の運動と、粘り強い共産党の活動があつてこそ、豊洲移転延期という小池都知事の決断を引き出したのです。

ただでなく、推進の旗を振り続けてきた都議会自民党や公明党などの責任も重大です。自民党は、深刻な汚染が明らかになった今年一月以降も、「一日も早い開場を」というビラを配布するなど反省が見られません。また、練馬区長の前川耀男氏は、知事本局長時代に豊洲用地取得に深く関わり、退職後すぐに東京ガスに天下りしたことで、都議会百条委員会に証人喚問されました。

豊洲は東京ガスの工場跡地。コークスが野積みだった

まずは、豊洲へ。ここは30年間操業した東京ガスの工場跡。そこで働いていた飯野雅行さんに当時のことをお聞きしました。「石炭を千度以上の高温で処理して都市ガスを製造するコークス炉では、作業員の口に巻いたタオルが一回使えば真っ黄色くなるほど。ガス製造過程では、ベンゼン、シアン、六価クロム、水銀、ヒ素、鉛などの有害物質が排出され、それらが土壌や地下水にしみこみました」。ベンゾール装置の跡地に青果棟、コークスが野積みされていたあたりに水産仲卸棟が建っています。2001年、石原慎太郎知事は、この豊洲工場跡地を購入して築地市場を移転させる計画を強引に決定、その後、猪瀬・舩添知事も進めてきました。「あれほど汚染された土地を、生鮮食品を扱う市場にするなんて、当時働いていた私たちには考えられないことでした」と飯野さん。しかし、東京都市汚染した土地を東京ガスから高く買い、しかも土壌汚染対策費もまけてやったのです。



青果棟前で飯野さん（右）から話を聞くとや英津子（中央）

汚染対策の盛り土がない！地下に巨大空間

2008年の調査で、環境基準の4万3千倍のベンゼン（発がん性が高い有毒物質）が検出された豊洲。都はそれを除去し、地下に盛り土をして汚染を遮断すると説明していたのに、その盛り土がなかったのが分かったのは、昨年夏でした。日本共産党都議団が視察をおこない、施設の地下が巨大な空洞になっている写真を公開し、日本中に衝撃を与えました。今年3月公表された調査結果では、地下水から環境基準の百倍を超えるベンゼンが検出され、「なぜこんな汚染地に6千億円もかけて市場を作ったのか」という怒りの声がわき起こっています。



豊洲市場の地下（日本共産党都議団撮影）